

NEWS RELEASE

分娩用ベッドの販売を開始 ～周産期領域の製品ラインアップを強化～

パラマウントベッド株式会社（東京都江東区、代表取締役社長：木村恭介）は、ベッドとしても分娩台としても使用することができる、陣痛分娩回復室（LDR 室）向けベッド「アフィニティⅣ」（米国・ヒルロム社製）の販売を、9 月 10 日に開始します。

パラマウントベッドは、周産期・小児医療分野への本格参入の第 1 弾として新生児用ベッド等を開発し、8 月から発売。今回、第 2 弾として LDR 室向けベッドの販売を開始します。

LDR 室向けベッドは、通常はベッドとして、分娩時には足ボトムを取り外すなどにより分娩台として使用することができるベッドです。LDR は Labor（陣痛）、Delivery（分娩）、Recovery（回復）の略語で、陣痛から回復までを移動せずに 1 つの部屋で行う出産方式。出産前後の移動回数が少なく済み、妊産婦への負担を減らすことができます。

「アフィニティⅣ」は、機能性と快適性の両立が図られた LDR 室向け電動ベッドです。陣痛時のより快適な姿勢や分娩しやすい体位に対応できるよう、ベッドの座面が背上げに連動して上がるほか、分娩時に足底を支えるフットサポートやふくらはぎを支えるカフサポートを装備しています。

また、マットレスに適度な厚み・やわらかさを持たせるなど、寝心地にも配慮されています。

さらに、緊急時にすみやかにベッドを水平に戻すための操作レバーや、停電など電源供給がなくなった場合にもベッド操作が可能なバッテリーを搭載するなど、安全性も考慮されています。

機種は、足ボトムの構造、マットレスの形状、カフサポートの有無等の組み合わせにより 16 種類をラインアップ。価格はオープン。



アフィニティⅣ

本件に関するお問い合わせ先
パラマウントベッド(株) 広報部
TEL: 03-3648-1111 FAX: 03-3648-5781